

## 平成26年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山本 雅代
		全体計画						経費区分		-		内線	3616
事務事業名	4258 奨学金事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100103 教育費・教育総務費・教育奨励費											
	事業	060000 奨学金事業											
事業目的							事業概要・効果						
奨学金制度は、経済的理由のために修学が困難な学生に経済的支援を行い、教育の機会均等を図ると共に、社会性に優れた人間を育成することを目的とする。							貸付金額 高校生 公立・月額 10,000円以内 私立・月額 21,000円以内 高専生 月額 17,000円以内  大学生 国公立 自宅通学 月額 26,000円以内 自宅外通学 月額 33,000円以内 私立 自宅通学 月額 36,000円以内 自宅外通学 月額 50,000円以内						

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
新規6人、合計16人に対して奨学金を貸与した。	新規2人、合計12人に対して奨学金を貸与した。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
高等学校及び高等専門学校並びに大学に在学又は進学する者で、経済的理由によって修学が困難なものに対して奨学金を貸与する。	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		6,554	11,165
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	6,554	11,161
一般財源		0	4
人員数(人)	正規職員	0.4	0.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,743.2	2,743.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,743.2	2,743.2
市民一人当たりの経費		0.2	0.3
総額		9,297.2	13,908.2

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,554	奨学金貸付金

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	11,165	奨学金貸付金

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	経済的理由のために修学が困難な学生に経済的支援を行い、教育の機会均等を図るため。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	経済的理由のために修学が困難な学生に経済的支援を行い、教育の機会均等を図っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	経済的理由のために修学が困難な学生に経済的支援を行い、教育の機会均等を図っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

経済的理由のために修学が困難な学生に経済的支援を行い、教育の機会均等を図ることができた。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
選考委員会の審査を経て新たに2人の者を須坂市奨学生に選考し、経済的理由のために修学が困難な学生に経済的支援を行うことができた。	

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金の貸与で就学援助することができた。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	